

平成 31 年 2 月 22 日
リニューアブル・ジャパン株式会社

プロジェクトボンドにより、太陽光発電事業の開発資金 89 億円を調達

2019 年 2 月 22 日、リニューアブル・ジャパン株式会社（本社：東京都港区、代表取締役 社長：眞邊 勝仁）は、北海道登別市における太陽光発電事業に関するプロジェクト（以下「本プロジェクト」）資金のうち 89 億円を、パークレイズ証券株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：木曾 健太郎）が組成した再生可能エネルギープロジェクトボンドスキームにより調達しました。

本プロジェクトを裏付けにしたプロジェクトボンドは、格付投資情報センター（R & I）により、信用格付（B B B）ならびに、グリーンボンド格付（最上位である G A 1）を付与されています。

再生可能エネルギー関連のプロジェクトファイナンス市場が拡大していく中で、R & I からプロジェクトボンドに対してグリーンボンド格付及びグリーンボンド原則等への適合性に関するセカンドオピニオンが付与されたのは、初めてのケースです。

本取引の概要

名称	R J 再生可能エネルギープロジェクトボンドⅢ受益権（G B）及び A B L
発行金額	8,900,000,000 円 受益権(GB): 7,900,000,000 円 / ABL: 1,000,000,000 円
発行日	2019/2/22
最終償還日	2041/2/20
受託者	日立キャピタル信託株式会社

対象事業の概要

事業者のスポンサー	リニューアブル・ジャパン株式会社
事業内容	太陽光発電事業
所在地	北海道登別市
事業規模	22.00 MW （モジュール規模）
想定年間 CO2 排出削減量	約 15,195 トン

リニューアブル・ジャパンについて

リニューアブル・ジャパン（2012年1月設立、資本金13億7545万円）は、上場インフラファンドを運営する国内唯一の再生可能エネルギー専門ディベロッパーです。事業用地の確保・発電所の建設・運営管理などをシームレスで行い、また、高度な金融ノウハウを活かして発電所を金融商品として組成させる力も兼ね備えています。なお、上場インフラファンドは、国際的なESG投資の指標であるGRESBによる評価（アセット評価：3スター）を得ています。